



器のギャラリー&旬菜カフェ 自在庵

賑わいの中心地で 器と料理で五感を満たす

江戸時代後期から昭和初期までの建造物が残る重要伝統的建造物群保存地区（重伝建）に隣接した一角、器のギャラリー&旬菜カフェ自在庵は佇む。国の登録有形文化財でもある旧金芳織物工場の社長宅を改修した店舗で、事務所の他、現在はベーカリーカフェとして利用されるノコギリ屋根工場が隣接する。向かいには四辻の齋嘉と買場紗綾市の会場があり、周辺は重伝建内でも賑わいの中心地となっている。

オーナーの横山敏也さんはサラリーマンを定年退職後、「地元根付き賑わいに貢献したい」と2020年10月に自在庵をオープン。趣味だった陶器のギャラリーに、散策の休憩場所となるよう食事処を併設した。ギャラリーに置かれるのは備前や唐津をはじめ全国から集められた焼き物。横山さんが直接交渉した若手や中堅作家の作品が多く、独自のギャラリーに仕上げている。

料理を担当するのは横山さんの実姉で管理栄養士の中村裕子さん。お米の美味しさを味わえる季節のおこ

わや気軽に楽しめるランチプレートなど、常時3種類のメニューを提供する。いずれも旬の食材でアレンジを施し、季節の移ろいを見せる庭園とともに五感を満たしてくれる。

店名は、横山さんの曾祖父で明治期に織物技術の発展に尽くした横山嘉兵衛の別邸から採った。群馬県令（知事）楢取素彦が命名し、嘉兵衛の俳諧道場兼茶室として多くの文人や機業家が集ったという。

「まち歩きのリゾート所にお茶だけでも立ち寄ってほしい」と横山さん。令和の自在庵は、かつての在り方を継ぎながら賑わい創出に一役買っている。



【器のギャラリー&旬菜カフェ 自在庵】

- 住所／桐生市東久方町1-1-55
- 電話／0277-47-5133
- 営業時間／午前11時～午後6時
- 定休日／毎週水曜日、第1・第3火曜日
- @jizaian5133